

学級
通信ロマンと
ソロバンissue 1
1999.5.19

(財)大学コンソーシアム京都インターンシップ・プログラムNPOコース事務局

学級通信：「ロマンとソロバン」創刊

改めて、NPO スクールへようこそ。このニュースレターは、事務局とインターン生とをつなぐ架け橋です。主にスクーリングのフォローアップと、インターンシップにあたっての連絡をします。また、コーディネーターのコメント、そしてスクール生（インターンの皆さん）やインターン先の動きも紹介していく予定です。よろしくお祈りします。

前回のおさらい

今回は第1回目の講義でした。4人の遅刻があったものの、全員出席。「NPO スクール入門 - イメージ・トレーニングをとおした準備 - 」と題して、NPO スクールの目指すものや、今後の予定の確認をしました。

-
- 18:30 ~ 恒心館 732 教室から移動
 - 18:40 ~ 学校長講話（中村）
 - 19:10 ~ インタビューゲーム（山口）
 - 19:30 ~ 今後の進め方について（山口）
 - 19:45 ~ まとめ（中村）
 - 19:50 ~ 感想文記入
 - 20:00 ~ 談話室にてサロン
-

講話では1年間のプログラムのスタートに際して、このNPO スクールがこういった状況の中で取り組まれているかが話されました。コーオペ教育としてのプログラム運営であるということ、きょうとNPO センターとの連携などについてです。一方で厳しい注意もありました。無断欠席や遅刻は厳禁であると何度も強調されました。社会的な関係性の中で行われていくプログラムです。個人の行為が他人にも影響しますので、いい加減な関わり方はしないようにしましょう。

その後はインタビューゲームをして緊張している場の雰囲気をはぐしました。開始前にはこわばっていた表情も、終了後にはほぐれました。とはいえ、中村先生からつつこみが...

『私は立命館大学の中村です。はじめまして。よろしくお祈りします』これがきちっと言えてるかどうかを今ずっと皆さん見てたんです。しかし、言っているけれども頭が下がっていません。『はじめまして』と言ったときには、頭下がるでしょ？それが基本的にできていない人が多かったです。それから相手の目を見てないです。目を見てなくてシートを見ていた人、あるいは相手の胸を見てました。つまり、名札を見ていたんです。やはり目を見るべきですね。』

これからもこうした作業を通じて、多様な「とらわれ」に気づいて欲しいな、と思っています。別に「とらわれ」ていることが悪いことではありません。その絡んだ糸を解きほぐしていくことが、このプログラムに参加していく価値であるとも言えるでしょう、ね。

data sheet NO.1 (5/12)	内容：オリエンテーション	出席：全員出席	感想文未提出：三井さん
	講話 + インタビューゲーム + 今後の進め方について	ゲスト：なし	
	課題：「あなたが最も力を注いだこと」を600字で書く	オブザーバー：登丸さん・明井さん（一期生）	

感想文から

第1回講義の感想文を集めさせていただきました。今後もこうしたかたちでスクーリングの感想をとっていきたいと思っています。感想・情報提供・おしかり・励まし・質問など、コメントをもらえればうれしいです。そうした意見はNPOスクール運営に反映させていただきます。

第1回目の感想は、「新しい環境」というのがプラスにもマイナスにも働いている、というのが大きな傾向です。人との出会い・交流」や興味分野への挑戦・期待などが高まる中、緊張や不安も折り混ざりっている人が多かったようです。

強烈な(?)個性をアピールしているな、と思ったのは、「楽：女の子が多い」や、「哀：無視が多かった」などですが、中には「哀：NPO法の正式名を知らなかった」といったNPOスクールならではの感想もありました。

これからの1年間の密度の濃い経験の中でみなさんがどう変わるか、終わったときに感想文を読み返してみるのもいいかもしれません、ね。

事務局からの連絡

NPOスクールには、資料と書籍が用意してあります。

前回のスクーリングが終わってから何人かが事務局を訪問しています。事務局には各団体の資料や、その他NPO活動に関わる書籍などが用意してあります。インターンが始まる前に基礎情報を身につけていたり、また今後、インターンシップによる活動が進んでいく際に知識を深めたりなど、資料や書籍を活用してください。

必要な場合はコピーをとっていただいても構いません。また、本によっては貸し出すこともできます。

事務局サポートボランティア募集

事務局では毎回のスクーリングの情報をパソコンによって電子情報化しています。そこで皆さんにお願いです。この一連の作業をお手伝いいただけるボランティアを受け入れます。この作業では「他人がどのような意見を持っているのか」を知ることができます。あるいは入力作業を通じてパソコンに慣れることもできます。興味・関心のある方は事務局まで連絡してください。

学級通信「ロマンとソロバン」の記事も募集

この「架け橋」の中身、つまり記事を募集します。できれば原稿をいただけるのがうれしいのですが、逆に「こんな記事が欲しい」というリクエストも受け付けます。その場合、スタッフが皆さんに「原稿依頼」をするかもしれません。みんなでこのニュースレターをおもしろくしていきましょう。

(財)大学コンソーシアム京都 インターンシップ・プログラム NPO コース
「NPOスクール」ニュースレター <学級通信「ロマンとソロバン」> 1999.5/19 第1号

編集長：山口 洋典 編集：赤澤 清孝・桜井 政成・竹花 由紀子・春山 文枝 発行：中村 正

< NPO スクール事務局 >

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1 立命館大学研究支援センター気付

TEL/FAX.075-465-1979

E-mail.ohbora@jca.ax.apc.org

URL.http://www.jca.ax.apc.org/ohbora/

< 財団法人 大学コンソーシアム京都事務局 (担当：武田) >

〒602-0047 京都市上京区新町通今出川上ル同志社大学新町校舎臨光館3階

TEL.075-251-4685

FAX.075-251-4687

URL.http://manzoku.topica.ne.jp/daicen